

■担当教員氏名： 畑 満、加藤 貴士

■授業題目： 年金数理概論

■授業の目的と概要： 公的年金を補完する企業年金の社会的役割が大きくなる一方、競争の激しい企業経営において企業年金のあり方が重要課題となっている。この年金運営においては数理統計学をベースとした「年金数理」が用いられており、理系専門職であるアクチュアリー(年金数理人)の関与が不可欠である。本講では、年金運営の現場に携わる年金数理人が講義を行い、「年金数理」の基礎、公的年金制度の本質や企業年金制度の構造、年金資産運用理論等の基礎について習得することを目的とする。

■学習の到達目標： ①我が国の公的年金・企業年金の仕組みと課題を理解する。②年金数理の基本原則や具体的手法を理解する。③年金資産運用の基礎理論や現状を理解する。

■授業の内容・方法と進度予定： 以下の通り、2名の講師によるオムニバス形式で実施

回	講義日時	講義名	講義概要
1	9/9	2 講時 年金数理の基礎	「年金数理」とは何か、利率・利力、現価、死亡率・死力などの概念を説明
2		3 講時 公的年金制度・財政概論	公的年金制度の沿革、現在の枠組み、公的年金制度の財政検証、公的年金制度の本質を説明
3		4 講時 企業年金制度概論	企業年金制度の沿革、企業経営との関係、制度設計例、企業年金各制度の基本的構造を説明
4	9/10	2 講時 計算基礎率と年金現価	年金数理計算の前提となる計算基礎率の算定方法、生命表の作成方法、年金現価などを説明
5		3 講時 年金財政計画基礎論	長期的に安定した年金財政運営を図るために立てられる年金財政計画の基礎的考え方を説明
6		4 講時 各種年金財政方式の構造	現実の企業年金でよく用いられている財政方式を題材に、年金財政計画の理解を深める
7	9/11	2 講時 公的年金数理論と人口理論	公的年金財政の均衡方程式、年金財政の将来推計方法、人口推計の方法、安定人口理論を説明
8		3 講時 最新企業制度論と年金制度の課題	最新のリスク分担型企業年金制度、公的年金制度と企業年金制度の今後の課題を説明
9		4 講時 演習	これまで行った講義の内容について演習を行う

10		2 講時	財政計算	制度発足時の財政計画や、制度発足後に発生した「ずれ」の軌道修正のために行われる「財政計算」について説明
11	9/12	3 講時	財政検証	事前に立てた計画と現実が相違することが一般的であり、そのずれを検証する「財政検証」の目的と方法について説明
12		4 講時	退職給付債務	企業の退職金準備状況を適切に表示する目的で導入された退職給付債務について、一般の年金数理と比較しながら説明
13		2 講時	企業年金の資産運用	投資理論の基礎を前提知識とし確認した上で、企業年金の資産運用の特徴等を説明
14	9/13	3 講時	年金 ALM	年金 ALM(Asset Liability Management)の目的、全体像(アウトプットサンプル)、年金 ALM の活用方法などについて説明
15		4 講時	年金運用の最近の動向	「年金 ALM の新潮流」、「政策アセットミックス構築と実際の運用」及び「運用手法の多様化」というテーマで、年金運用を取り巻く最近の動向や実態について説明

■教科書： 新版「年金数理概論」(日本年金数理人会 編:朝倉書店)

各自、講義前までに準備しておくこと

■成績評価の方法：

出席点およびレポートにより判定(おおむね 50:50 で配点)。

出席は、毎回の講義にて配布する「出席表兼アンケート」の提出により確認する。

レポートについては講義中に詳細をお知らせし、講義後の一定期間にて提出していただく。

■その他：

理論だけでなく、年金数理の実務や業務内容、資格の取得方法などについても積極的に質問してください。